

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございます。この調査は、厚生労働省の科学研究費「生活保護受給世帯の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」の一環として行われています。

生活保護を受給されている方の就労自立を助け、安定して地域で生活できるような支援のしくみやプログラムを作ることが目的です。みなさんの個人のお名前やプライバシーが表に出てご迷惑をおかけすることは決してありませんので、安心してご意見をお聞かせください。質問項目のなかには、失礼な質問もあるかもしれませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いに存じます。

【問1】 お生まれになったのは何年ですか。

昭和・平成 _____ 年 _____ 月 () 歳

【問2】 あなたが最後に行かれた学校はどれになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 小学校
2. 中学校
3. 高校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. 職業訓練校
8. 専門学校
9. 小学校中退
10. 中学校中退
11. 高校中退
12. 短大・高専中退
13. 大学中退
14. わからない
15. ほとんど学校には行っていない

【問3】 現在と一緒に暮らしているご家族をおしえてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 単身
2. 配偶者
3. 本人の母親
4. 本人の父親
5. 息子()人
6. 娘()人
7. 配偶者の父親
8. 配偶者の母親
9. 本人の祖父
10. 本人の祖母
11. 本人の兄弟()人
12. 本人の姉妹()人
13. その他の親族()

【問4】 保護はいつから受給していますか。

昭和・平成 _____ 年 _____ 月

【問5】 それ以前にも、生活保護を受給していたことがありますか。

ある場合は、回数もお答ください。

1. はい () 回目
2. いいえ

【問6】 現在、受給している保護期間中にケース・ワーカーの方は、何回くらい訪問されましたか。

これまでの訪問回数の合計を教えてください。合計 () 回

【問7】 現在、自立支援プログラムに参加されていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. ハローワークとの連携による就労支援事業
2. 資格取得を支援する事業（パソコンや簿記など）
3. 就労準備に関する支援事業（履歴書の書き方・面接の心得など）
4. 就業体験的ボランティア事業（公園管理ボランティア、農業・林業などの作業体験）
5. 就労意欲を喚起するような事業（受給者同士の交流や居場所づくり）
6. 母子世帯を対象とした就労支援事業
7. その他 ()

【問8】 この先、就労できると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 必ず就労できると思う。
2. たぶん就労できると思う。
3. 就労できると思わない。

【問9】就労する上で不安なことはなんですか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

その中でも**一番不安なもの**に◎をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 学力に自信がない。 | 2. 体力に自信がない。 |
| 3. 他人と人間関係をつくるのが苦手である。 | 4. 職場になじめるか不安である。 |
| 5. 決められた時間にあわせた生活が苦手である。 | 6. 与えられた仕事をこなす自信がない。 |
| 7. 年齢的に就労が難しいと思う。 | 8. 景気が悪いので、仕事がないと思う。 |
| 9. 子どもがいるので就労の時間帯が制限される。 | 10. 就労に有利な資格がない。 |
| 11. 自動車など通勤手段がない。 | 12. 履歴書の書き方がわからない。 |
| 13. 面接の受け答えが不安である。 | 14. 面接のための服がない。 |
| 15. 面接を受けて断られるのが怖い。 | 16. 仕事の探し方がわからない。 |
| 17. その他 () | 18. 心配ごとはない。 |

【問10】現在、隣近所とは、どの程度、おつき合いがありますか。あてはまるもの**1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. つきあいはない | 2. 道で会えばあいさつぐらいはする |
| 3. 出会ったときに少し世間話をする | 4. とときどき、お互いの家をたずねあう |
| 5. かなり頻繁にお互いの家をたずねあう | 6. 家族同様といえるくらい親しくつきあっている |

【問11】この一ヶ月間で、次の人々と世間話をしましたか。あてはまるもの**すべて**に○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------------|------------|
| 1. 同級生・同窓生 | 2. 同級生・同窓生以外の友人 | 3. 隣近所の人 |
| 4. ケース・ワーカー | 5. 民生委員 | 6. 以前の職場関係 |
| 7. 家族・親せき | | |
| 8. 自立支援プログラムで知り合った人（市が紹介したボランティア先や資格取得講座など） | | |
| 9. その他 () | 11. 世間話をした人はいない | |

【問12】生活する上で最も頼りになるのは誰ですか。 ()

【問13】気を使わずに付き合える人は何人いますか。 ()人

【問14】あなたの昨日の「生活の流れ」をお教えください。

記入例

起床	散歩・体操	朝食	準備・移動	プログラム 就労自立支援	移動	昼食	テレビ	昼寝	趣味	夕飯	テレビ	風呂・準備	読書	就寝
6:00	6:30	7:30	8:30	10:00	12:00	12:30	13:30	15:30	16:30	18:00	19:00	21:30	22:00	23:00

【問15】なにか日課をお持ちですか。お持ちの場合は**どのようなものか**教えてください。

- | | |
|-----------|--------|
| 1. はい () | 2. いいえ |
|-----------|--------|

【問16】「こんな支援があったら就労に結びつくのではないか」というアイデアがあれば教えてください。

厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 21010901

「生活保護受給世帯の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」

研究代表者 添田祥史 (北海道教育大学講師)

研究分担者 野依智子 (九州大学学術協力研究員)

稼働年齢層における生活保護受給者
の生活実態に関する調査報告書

北海道教育大学釧路校 講師 添田祥史

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15番55号

TEL・FAX(0154)44-3369

<http://www.hokkyodai.ac.jp>

E-mail:soeda@hokkyodai.ac.jp

厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業) 21010901

「生活保護受給世帯の就労自立を促す成人基礎教育カリキュラムの開発」

研究代表者 添田祥史 (北海道教育大学講師)

研究分担者 野依智子 (九州大学学術協力研究員)

**生活保護受給世帯の就労自立を促す
成人基礎教育カリキュラムの開発**

平成21年度 総括研究報告書

北海道教育大学釧路校 講師 添田祥史

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15番55号

TEL・FAX(0154)44-3369

<http://www.hokkyodai.ac.jp>

E-mail:soeda@hokkyodai.ac.jp

